

目次

第1章 総説 吉岡 斉

1. なぜ「中間取りまとめ」を国際評価するのか	1
1-1. 「原子力政策大綱」策定へ向けての動き	1
1-2. 「核燃料サイクル政策についての中間取りまとめ」	1
1-3. レビューの目的	2
2. I C R C の組織と活動	3
2-1. I C R C 発足の経緯	3
2-2. I C R C のメンバー	3
3. 「中間取りまとめ」の特徴と問題点	4
3-1. 「基本シナリオ」の「総合評価」の実施	4
3-2. 現行政策の堅持の結論	5
3-3. 「総合評価」の方法論上の問題点	5
3-4. 個別評価項目ごとの評価の問題点	6
3-5. 問題点の総括	8
4. 海外レビューの結果	8
4-1. 全体的な特徴	8
4-2. 各レビューの特徴的な部分の紹介	9
4-2-1. フレッド・バーカー（イギリス）	9
4-2-2. マイケル・シュナイダー（フランス）	9
4-2-3. クリスチャン・キュッパース（ドイツ）	11
4-2-4. フランク・フォン・ヒッペル（アメリカ）	12
5. 政策転換コスト問題に関する評価	13
5-1. なぜ政策転換コスト問題を独立に取り上げるか	13
5-2. 「中間取りまとめ」における政策転換コストの評価法	13
5-3. 原発長期停止シナリオの誤り	13
5-4. 政策転換に関わる真の問題	14
5-5. 明示されなかった政策不転換コスト	15
6. 結論	16

第2章 ICRC評価レポート フレッド・バーカー

1. はじめに	17
2. 策定会議による評価手法の欠陥	17
3. シナリオの優劣の判断における主要問題	18
4. より進んだ評価方法	22
5. ステークホルダーの評価への参加	24
6. 結論	25

第3章 ICRC評価レポート マイケル・シュナイダー

1. はじめに	27
2. 策定会議の方法論	27
3. 基本シナリオの定義	28
4. 基本シナリオの評価	30
5. 結論	40

第4章 ICRC評価レポート クリスチャン・キュッパース

1. はじめに	43
2. 使用済核燃料の再処理、中間貯蔵、最終処分における放射線影響	43
3. 再処理、使用済燃料の中間貯蔵、最終処分の安全性	46
4. 分離されたプルトニウムおよび使用済燃料に関連する核拡散の危険	47
5. 海外の動向	49
6. 結論	50

第5章 ICRC評価レポート フランク・フォン・ヒッペル

1. はじめに	51
2. 国内的に考慮すべき事項：経済性、安全性等	51
3. 国際的に考慮すべき事項：核テロによるプルトニウム転用の更なる危険性及び 国内核燃料サイクル施設の増加を抑制する取り組みへの被害	54
4. 結論	57

付録 1 原子力委員会新計画策定会議（第13回）参考資料 1

「核燃料サイクル政策に関する中間取りまとめ」（平成16年11月12日）	1
-------------------------------------	---

付録 2 原子力委員会委員長への書簡

	13
--	----

付録 3 原子力委員会委員長からの返信

	14
--	----